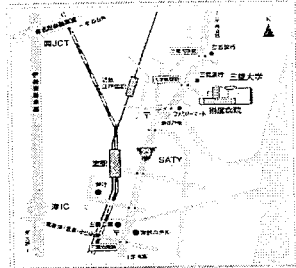


4. 三重県

三重大学医学部附属病院産科オープンシステムパンフレット



車でアクセスの場合
伊勢自動車道 津ICより、国道 29号・小浜街道を直進
【三岐会館前】の交差点を左折し、29号に入り
比良街道を直進し直進

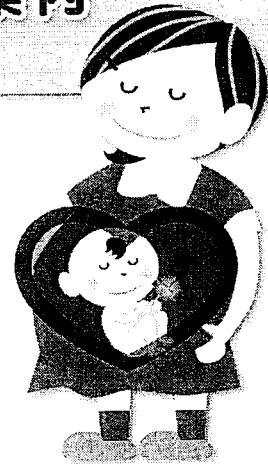
電車・バス・タクシーでアクセスの場合
近鉄名古屋線(急行)で「江戸橋駅」下車。
「江戸橋駅」から徒歩約15分。
近鉄名古屋線(特急)または近鉄本線(普通)で「津駅」下車。
「津駅」からタクシーまたはバス約10分。

バス
本駅前バスセンター(4番のりば)から三重交通バス
白塚駅前行(豊楽駅前バス) 三重大学病院行
(本線) 本線(臨時) 三行(ゆかり)行に乗り
「三重大学病院」下車。

国立大学法人
三重大学医学部附属病院
〒514-8507 三重県津市江戸橋2丁目174番地
TEL (059-232-1111) (代表)
ホームページhttp://www.medic.mie-u.ac.jp/hospital/

三重大学医学部 附属病院

産科オープンシステム のご案内



お問い合わせ先

三重大学医学部附属病院

産科病棟
Tel.059-231-5123

産婦人科外来
Tel.059-231-5151



産科オープンシステムとは

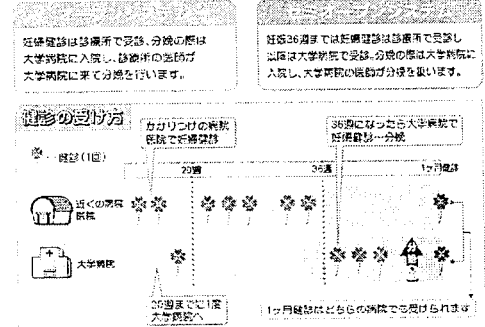
お産は多くの場合、正常に経過して元気な赤ちゃんが生まれ、お母さんも正常に回復していきます。しかし、中には妊娠中やお産の最中に突然異常な事態が発生することもあります。また、持病があったり、妊娠経過に異常があるハイリスク妊娠では、妊娠中や分娩時に危険が伴います。

三重大学医学部附属病院では、より安全なお産を提供するために、妊娠健診は近くの診療所で受けていただき、分娩は産科、小児科、新生児集中治療室(NICU)などの設備、スタッフの充実した大学病院で行っていただけるシステムを採用しています。これが、それぞれの医療機関の特性を生かした産科オープンシステムです。

産科オープンシステムの具体的な内容

- 1 妊娠20週までにガカリつけの病院・医院の紹介状と予約通知書に書かれた書類一式をもって大学病院の産婦人科を受診してください。最初の受診の際は妊娠9時から12時の間に来院して下さい。外来看護師や担当医師が必要事項を説明します。
- 2 妊娠中の検査結果は、紹介元の先生に紹介状に記載していただくため、感染症に関して同じ検査を繰り返すことはありません。
- 3 一俵、大学病院を受診したあとは紹介元の病院・産婦人科医院で健診を受けて下さい。
- 4 妊娠36週以降は、大学病院で健診を受けていただきます。
- 5 妊娠中に妊娠高血圧性症候群、糖尿病、前置胎盤、胎児発育遅延などの合併症があった場合は、紹介元の先生と相談し、大学病院での管理となります。
- 6 分娩予約された妊婦さんが、妊娠中何か問題が生じた際には、紹介元の先生に診てもらうことも可能ですが、先生の都合が悪い時は、大学病院で診察を受けて頂きます。
- 7 大学病院の行っている母期卒業をご希望の方は受講いただけますので、可能な限りご参加ください。
- 8 紹介元の先生がオープンシステムを採用されている場合は、あなたが入院されたときに連絡をしますので、分娩や帝王切開の立ち会ってもらうことができます。セミオープンシステムを採用されている場合は、大学のスタッフが責任をもって分娩のお世話をします。
- 9 オープンシステムで分娩の際に紹介元の先生に立ち会ってもらうが、セミオープンシステムで大学のスタッフに委任する方は、予め紹介元の先生と相談して決めておいて下さい。
- 10 産後の一ヶ月健診は、大学病院または紹介元の先生のいずれでも受けられます。

どちらのシステムを採用しているかは、ガカリつけの病院・医院によって違います。また、オープンシステムを採用している医師でもセミオープンシステムにも対応可能です。ガカリつけの医師とよく相談して決めてください。



妊婦さんにとっての産科オープンシステムのメリット

- ☆ 妊娠健診は近くの病院・診療所で手軽に受けることができます。
- ☆ オープンシステムに登録している診療所なら、分娩も診療所の医師に立ち会ってもらうことができます。
- ☆ 設備やスタッフの揃った大学病院で分娩することにより、分娩時に何か起こった場合も各科の医師が対応できるので安心です。
- ☆ 妊娠中・産後も紹介元の先生だけでなく、必要に応じて大学病院も受診できるので便利です。



名称未設定

戻る 進む 中止 更新 ホーム 自動入力 プリント メール

デザインサンプル 移動

三重大学医学部附属病院

産科オープンシステムのご案内

- ♥ オープンシステムとは
- ♥ オープンシステムのメリット
- ♥ オープンシステム分娩登録の流れ
- ♥ オープンシステムの具体的内容
- ♥ 外来・健診の受け方
- ♥ アクセスとお問合わせ

母親学級のご案内

国立大学法人 三重大学医学部附属病院
〒514-8507 三重県津市江戸橋2丁目174番地
TEL.059-232-1111 (代表)

Copyright © Mie University Graduate School of Medicine / Faculty of Medicine All Rights Reserved.

産科オープンシステムの紹介



Q 産科オープンシステムとは何ですか？

通常の妊婦定期検診は近くの診療所で受けていただき、分娩は設備・スタッフの充実した大学病院で行うシステムです。お産は多くの場合、正常に経過して元気な赤ちゃんが生まれ、お母さんも正常に回復してきます。しかし、中には妊娠中やお産の最中に突然異常な事態が発生することもあります。オープンシステムではこのような緊急時に対し、迅速で適切な対応が受けられるメリットがあります。

A

Q どうすればオープンシステムを利用できますか？

かかりつけの診療所がオープンシステムに登録しているかどうか確認して下さい。現在は県内で15の診療所がこのシステムに登録しています。診療所の医師に登録希望の旨を伝えていただければ、診療所から大学病院へ登録の手続きが取られます。妊娠20週前後と妊娠36週頃の少なくとも2回は大学病院で妊婦検診を受けて頂く必要があります。

A

Q 今までオープンシステムを活用した妊婦さんについて教えてください

昨年の12月より15名の妊婦さまに登録して頂いております。そのうち6名全員が無事に出産され、元気に退院されました。

A

Q 大学病院とオープンシステムに登録している診療所の連携は十分なのでしょうか？

登録された妊婦さまには診療所から「共通診療ノート」が配られます。このノートはカルテ並みに記入できるようになっており、診療所の医師が記入してくれます。母子手帳に挟めるサイズですので、常備することが可能です。大学病院のスタッフはこのノートを見ることによって、妊婦さまの継続的な状況が把握できます。夜間や緊急時の状況把握にも役立ちます。

A

Q もう少し詳しく知りたいのですが、他に情報はありますか？

産科オープンシステムの独自のホームページ (<http://www.medic.mie-u.ac.jp/sanfujinka/opensystem/index.html>) を開設しております。三重大学医学部附属病院のトップページでトピックスの欄に「産科オープンシステムのご案内」という項目がございますので、そこからお入り下さい。また、三重大学医学部産科婦人科学教室のホームページ (<http://www.medic.mie-u.ac.jp/sanfujinka/index.html>) もリニューアル致しました。スタッフの紹介も載せてありますので、一緒にご覧いただければと思います。

A



三重大学医学部附属病院産科オープンシステム 登録診療所

桑名・いなべ地区

- 山本総合病院
- ヨナハククリニック

鈴鹿・亀山地区

- あまがしレディースクリニック
- 白子クリニック
- 宮崎産婦人科
- 宮村産婦人科

津地区

- 金丸産婦人科
- セントローズクリニック
- 滝西産婦人科
- 富沢産婦人科
- 西山産婦人科
- ヤナセクリニック

松阪地区

- 南産婦人科

伊勢・度会・志摩地区

- 小原産婦人科

阿山・名賀地区

- 坂本産婦人科

ZTVコミュニティサイト

Z-TOWN

ZTV

Z-TV

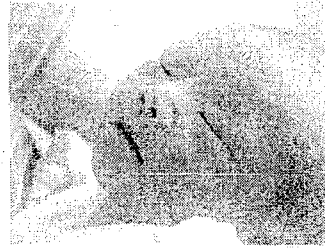
Z-CAN

今月号の目次はこちら

健康

産科オープンシステムで安心なお産を

産婦人科医師や病院の不足。安全にお産ができるか心配…。そんな声を反映して生まれた取り組みが「産科オープンシステム」。妊婦健診は近くの診療所で受け、リスクの高い分娩は設備・スタッフの充実した大学病院で行うという画期的なシステムなのです。三重大学医学部産科婦人科学教室さんに詳しくお話を伺いました！



◆産科オープンシステムって何ですか？

通常の妊婦定期健診は近くの診療所で受けていただき、分娩は設備・スタッフの充実した大学病院で行うシステムです。お産は多くの場合、正常に経過して元気な赤ちゃんが生まれ、お母さんも正常に回復していきます。しかし、中には妊娠中やお産の最中に突然異常な事態が発生することもあります。オープンシステムではこのような緊急時に対し、迅速で適切な対応が受けられるメリットがあります。

◆どうすればオープンシステムを利用できるの？

かかりつけの診療所がオープンシステムに登録しているかどうか確認して下さい。現在は県内で15の診療所がこのシステムに登録しています。診療所の医師に登録希望の旨を伝えていただければ、診療所から大学病院へ登録の手続きが取られます。妊娠20週前後と妊娠36週頃の少なくとも2回は大学病院で妊婦健診を受けて頂く必要があります。登録診療所についてはこちらのページをご覧ください。

◆今までオープンシステムを活用した妊婦さんはいるの？

昨年の12月より15名の妊婦さまに登録して頂いております。そのうち6名全員が無事に出産され、元気に退院されました。

◆大学病院とオープンシステムに登録している診療所の連携は十分なの？

登録された妊婦さまには診療所から「共通診療ノート」が配られます。このノートはカルテ並みに記入できるようになっており、診療所の医師が記入してくれます。母子手帳に挟めるサイズですので、常備することが可能です。大学病院のスタッフはこのノートを見ることによって、妊婦さまの継続的な状況が把握できます。夜間や緊急時の状況把握にも役立ちます。

◆もっと詳しくオープンシステムのことを知りたい！

産科オープンシステムのHPを開設しております。また、三重大学医学部産科婦人科のHPもリニューアル致しました。スタッフの紹介も載せてありますので、一緒にご覧いただければと思います。

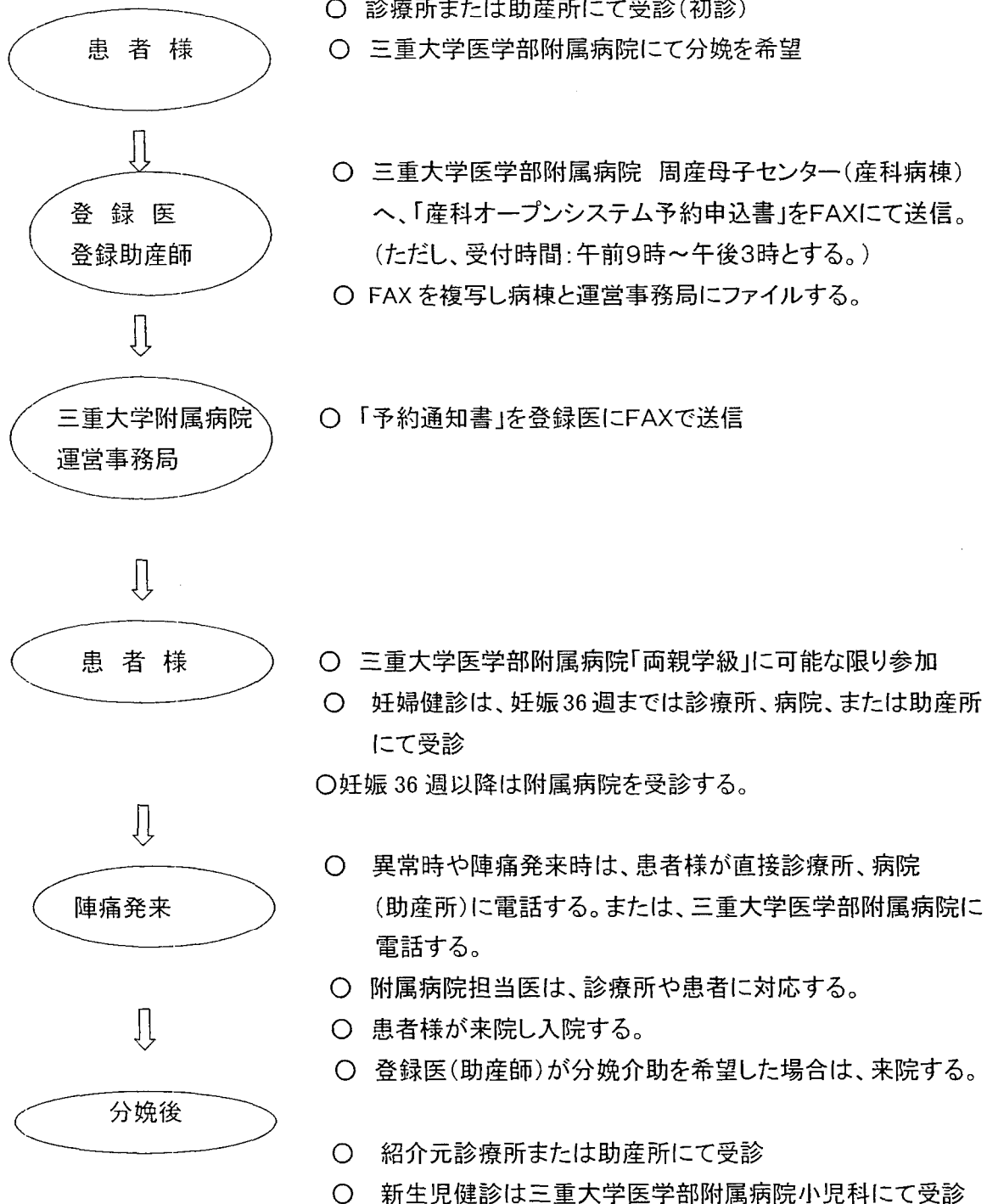
情報提供 三重大学医学部 産科婦人科学教室
三重県津市江戸橋2丁目174番地
電話 059-232-1111(代表)

←前へ戻る

▲このページのTOPへ

▶プライバシーポリシー

産科オープンシステムの利用手順

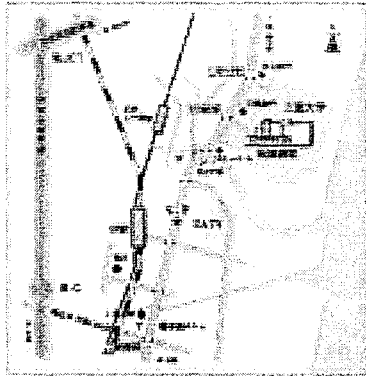


(三重県資料)

三重大学医学部附属病院 産科オープンシステムのご利用について

1. 三重大学医学部附属病院の産科オープンシステムの分娩をご希望の患者様がいらっしゃいましたら、「産科オープンシステム予約申込書」(様式1)をFAX(059-231-5143)にて、運営事務局(担当者:中村)へ送信してください。
 2. 折り返し確認のため、「予約通知書」(様式2)をFAXにて返送いたします。記入内容をご確認のうえ、患者様にお渡しください。
ただし、FAX返信まで数日かかります。
 3. 患者様には、妊娠20週までに一度三重大学医学部附属病院産科外来を受診していただきます。また、妊娠中に可能な限り、両親学級に参加していただくようお願い申し上げます。(病院の場所、病院スタッフ等、ご出産までに一度ご確認いただきます。)
 4. 妊娠経過中に異常が認められた場合は、登録医または登録助産師の決定において、三重大学医学部附属病院で入院をしていただきます。
(平日午前9時から午後5時は、産婦人科外来、休日・時間外は母性病棟に連絡)必ず、「産科オープンシステム利用」とお伝えください。
 5. 陣痛発来時には、患者様から直接病院へ連絡いただいても、登録医(登録助産師)経由で連絡いただいても結構です。
必ず、「産科オープンシステム利用」とお伝えください。
 6. 患者様が直接三重大学医学部附属病院に来院、入院された場合は、登録医または登録助産師に連絡いたします。また、分娩の経過についてもご報告いたします。
 7. 分娩介助および診療に、登録医または登録助産師が来院される場合、母性病棟(TEL059-231-5123)へあらかじめ電話にてお知らせください。
なお、病棟では当院が用意・交付しました名札を付けていただき、診察に従事してください。
- ※ a. 患者様で選択的帝王切開が必要な場合は、妊娠35週以前に来院していただきます。
- b. 妊婦健診、産褥健診は特に患者様が希望されない限り、各診療所または助産院で行ってください。
- c. 新生児健診は、基本的に当院小児科で行っています。

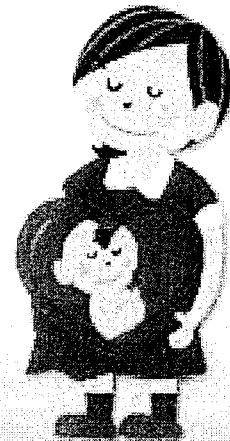
連絡先 TEL 059-232-1111 (代表)、059-231-5123 (病棟) : FAX 059-231-5143



三重大学医学部附属病院周辺マップ

〒514-8507 三重県津市淀川橋本丁西1-4番地
TEL 059-233-1111(代番)
#1111 http://www.medic.mie-u.ac.jp/hospital

三重大学医学部附属病院
産科オープンシステム
共通診療ノート



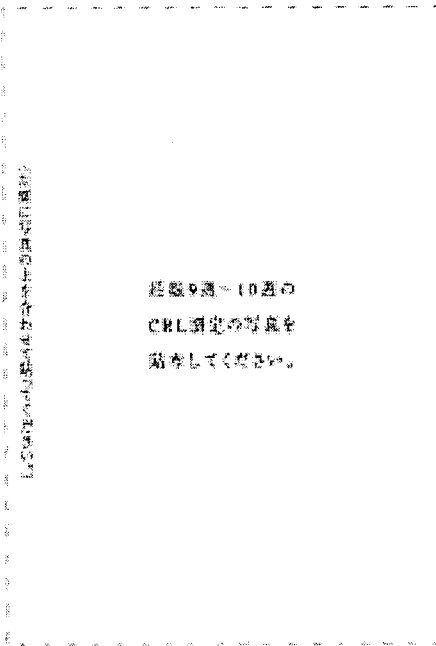
産科オープンシステムとは

産度は多くの場合、正常に経過して元男も赤ちゃんが産まれ、お母さんも正常に回復しています。しかし、中には妊娠中や産後の途中で突然異常な事象が発生することもあります。また、妊娠が過つたり、妊娠経過に異常があるハイリスク妊娠では、妊娠中の分娩時に危険が伴います。

三重大学医学部附属病院では、より安全な産度を提供するために、妊婦健診は多くの場所で行っているほか、分娩は産科、小児科、新生児集中治療室などとの連携、スタッフの充実した大学病院で行っている産科システムを採用しています。これが、それぞれの医療機関の特色をまかなした産科オープンシステムです。

1

氏名		歳	
予定日	妊娠	年	月 日
検査日			
妊婦歴			
検査結果	血型()	Rh()	
HBs抗原	/	GBS	/
HCV抗体	/	梅毒抗体	/
梅毒	/	Hb	/
HIV抗体	/	PLT	/
西薬抗体	/	白血球	/
AFL-A	/	血小板数	/
ウイルス抗体	/		/
HIV抗体陽性(有・無)			
分娩回数(有・無)		検査者	
		検査者	



1

診療ノート

年	月	日	
週			
BPD			
FTA			
FL			
EFBW			
胎位・胎力・産時等			
Sign			

診療ノート

年	月	日	
週			
BPD			
FTA			
FL			
EFBW			
胎位・胎力・産時等			
Sign			

特種分娩法での安全率出産を確保しているため、このノートにより特種分娩法で分娩を行います。
産時や産後時の産婦の状態、帝王切開と共に分娩することもあります。

住 所
氏 名
連 絡 先

産科オープンシステムをご利用頂いた妊婦さまへ

このたびは産科オープンシステムをご利用いただき誠にありがとうございました。
今後よりよいお産の体制を妊婦さまに提供するために、アンケートのご協力をお願い致します。
ご記入の上、返送いただきますようお願い申し上げます。

問1 産科オープンシステムをどのようにして知りましたか？項目に○をつけて下さい。

- かかりつけの診療所で
- ホームページ等で
- 雑誌
- その他

問2 健診は個人の診療所、お産は総合病院でおこなう「産科オープンシステム」を知っていましたか？

- 知っていた
- 名前は知っていた
- 知らなかった

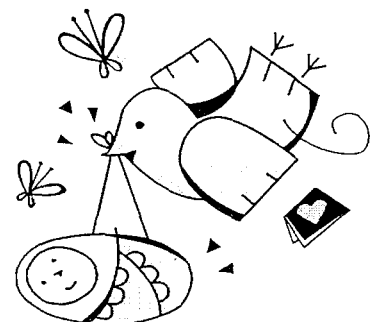
問3 あなたは、「オープンシステムを利用してよかった」と思いますか？

- よかった
- とくに何も思わない
- 今後は利用しない

問4 その理由は何ですか？

問5 オープンシステムについて「とくに改善の必要がある」と思うことは何ですか？

ご多忙の折、ご協力ありがとうございました。



産科オープンシステム登録医の先生方へ

平素は産科オープンシステムにご協力いただき誠にありがとうございます。

今後よりよいお産の体制を妊婦さまに提供するために、アンケートのご協力をお願い致します。ご記入の上、返送いただきますようお願い申し上げます。

問1 産科オープンシステムをご利用になりましたか？

- 利用した →問 2, 3, 5 にお答え下さい
- 利用しなかった →問 4, 5 にお答え下さい

問2 「オープンシステムを利用してよかった」と思いますか？

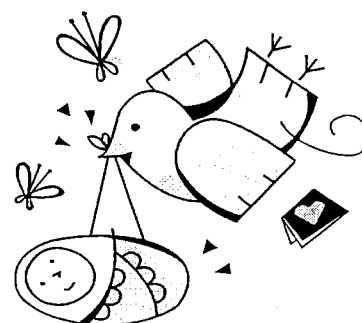
- よかった
- とくに何も思わない
- 今後は利用しない

問3 その理由は何ですか？

問4 オープンシステムを利用しなかった理由についてお聞かせ下さい。

問5 オープンシステムについて「とくに改善の必要がある」と思うことは何ですか？

ご多忙の折、ご協力ありがとうございました。



妊婦さまに対する産科オープンシステムに関するアンケート集計結果

■対象者 産科オープンシステムを利用し分娩・退院に到った妊婦

■有効回答数 5件 (回収率 62%)

Q1 産科オープンシステムをどのようにして知りましたか？

かかりつけの診療所	5
ホームページ	0
雑誌	0
その他	0

Q2 産科オープンシステムを今回、妊娠するより前から知っていましたか？

知っていた	0
名前は知っていた	0
知らなかった	5

Q3 産科オープンシステムを利用してよかったと思いますか？

よかった	5
とくに何も思わない	0
今後は利用しない	0

Q4 オープンシステムを利用してよかったと思うことはなんですか？

「精神的な安心」が 100%を占めた。

*コメントより 入院中、出産後、退院前にかかりつけの医師がお見舞いに来てくれたことが精神的に非常に安心した。

Q5 オープンシステムについて「とくに改善の必要がある」と思うことはなんですか？

「特になし」

「分娩費用が 5 年前の約 3 倍になっていて驚いたが、安心して出産出来る為には仕方ないと思う」

「パンフレットには、診療所の医師か大学病院の医師に取り上げてもらうか選択できると書いてあるが、診療所でその選択ができる雰囲気はなく、言い出せなかった。本当に選ぶことは可能だったのか？」

登録医に対する産科オープンシステムに関するアンケート集計結果

■対象者 産科登録三重県内の医師

■有効回答数 12件 (回収率 60%)

Q1 産科を~~利用~~利用上?

利用~~は~~6 (50%)

利用~~は~~6 (50%)

Q2 (17問~~産科~~産科医師間の利用~~は~~利用?)

~~は~~5 (83%)

利用~~は~~1 (17%)

今後利用~~は~~0

Q3 (17問~~産科~~産科医師間の理由~~は~~何?)

共同診療~~は~~詳細治療内容的確時期提供~~は~~

知識~~は~~

患者様紹介~~は~~易~~は~~

共通診療~~は~~等患者様~~は~~

時間外に自分以外施設患者~~は~~安心~~は~~

Q4 (17問~~産科~~産科医師間の理由~~は~~何?)

希望~~は~~患者~~は~~

大学病院~~は~~地域性~~は~~決~~は~~違~~は~~

Q5 ~~改善~~改善の必要~~は~~必要~~は~~思~~は~~考~~は~~?

県内拠点病院の整備~~は~~導~~は~~入

宣伝~~は~~活~~は~~

患者様~~は~~↓ 紹介者の負担↓ 又ま~~は~~理想的~~な~~事務的~~な~~手続~~は~~煩~~雑~~紹介者の負担~~は~~↑~~は~~

紹介~~は~~患者~~は~~定~~義~~難~~い~~

三重県~~は~~緊急以外 大学病院~~は~~産~~科~~婦~~科~~、大都市~~は~~産~~科~~婦~~科~~大病~~院~~希望~~は~~妊~~婦~~診~~察~~が三重県~~は~~奇麗~~な~~個人病院~~は~~選~~ば~~れ~~る~~多~~く~~妊~~婦~~意識革命~~は~~必要~~な~~